

報道関係者各位

独立行政法人 科学技術振興機構
公益財団法人 日本科学技術振興財団

高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム！ 「スプリング・サイエンスキャンプ 2013」の参加者募集について

この度、2013年3月下旬の春休み期間中に、高校生・中等教育学校後期課程・高等専門学校(1～3学年)等に在籍する生徒を対象とした“先進的科学技术体験合宿プログラム”「スプリング・サイエンスキャンプ 2013」を、独立行政法人 科学技術振興機構の主催、開催機関の共催、本部事務局を公益財団法人 日本科学技術振興財団が担当し開催いたします。本日、参加者の募集を開始いたしましたので、お知らせいたします。

「サイエンスキャンプ」は、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置等がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心を育てることをねらいとし、別紙「参考資料」のような成果をあげています。また、より深く学びたいと思う意欲の高い方に対して、3泊4日以上で集中的に講義・観察・実験・実習等を行うことができる探究・深化型のプログラム「サイエンスキャンプDX(ディー・エックス)」を1会場が開催します。DXとは deepen & extend、すなわち、より深く広く探究して意欲や才能を伸ばす活動という意味です。

<スプリング・サイエンスキャンプ 2013 の概要>

- 開催日：2013年3月23日～3月28日の期間中、2泊3日～3泊4日
- 会場：大学、民間企業等(12会場、うち「サイエンスキャンプDX」は1会場)
- 定員：受け入れ会場ごとに8～20名(合計163名) ※前年度平均応募倍率:約2.6倍
- 応募締切：2013年1月22日(火) 必着

なお、詳細につきましては、別紙「スプリング・サイエンスキャンプ 2013 概要」をご参照願います。



(お問い合わせ先)

サイエンスキャンプ本部事務局

公益財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内

担当:四村、川人、長尾

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号

電話 03-3212-2454(直通) FAX 03-3212-0014

E-mail camp@jsf.or.jp

サイエンスキャンプ参加者募集ページ：<http://rikai.jst.go.jp/sciencecamp/camp/>

スマートフォン専用参加者募集ページ：<http://rikai.jst.go.jp/sciencecamp/camp/sp/>

スプリング・サイエンスキャンプ2013 概要

1. 趣旨

我が国は、科学技術の振興により、豊かな国民生活や社会経済の発展及び産業競争力の強化を目指しています。その実現に向けて、我が国全体の研究開発力や国際競争力を維持・向上させるとともに、安全・安心で質の高い生活環境を構築するためには、科学技術活動の基盤となる人材をいかに養成し、確保していくかが極めて重要な課題です。そのため、青少年が科学技術に夢と希望を傾け、科学技術に対する志向を高める機会の充実が求められています。

「サイエンスキャンプ」は、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心、理数の才能等を育てることをねらいとしています。

2. 事業の概要

2013年3月下旬の春休み期間に、「スプリング・サイエンスキャンプ2013」として、ライフサイエンス、環境、エネルギー、ナノテクノロジー、材料、情報工学、建築学等の分野において先進的な研究テーマに取り組んでいる大学、民間企業等の12会場が、それぞれ8～20名（計163名）の規模で実施する科学技術体験合宿プログラムです。各会場は、それぞれの機関の特徴を活かした講義・実験・実習等によるプログラムを企画、実施します。参加者は2泊3日～3泊4日の合宿生活を送りながら、第一線で活躍する研究者・技術者による直接指導を受けます。

より深く学びたいと思う意欲の高い方に対し、3泊4日以上で集中的に講義・観察・実験・実習等を行うことができる探究・深化型のプログラム「サイエンスキャンプDX（ディー・エックス）」を1会場が開催します。DXはdeepen & extendの意味で、より深く広く探究して意欲や才能を伸ばす活動という意味です。

3. 主催

独立行政法人 科学技術振興機構

4. 共催（受入実施機関）

サイエンスキャンプ DX

【民間企業・その他】

企業組合 五島列島ファンクラブ

サイエンスキャンプ

【大学】

慶應義塾大学先端生命科学研究所、埼玉工業大学、東京工科大学、国立大学法人新潟大学脳研究所、大阪工業大学ナノ材料マイクロデバイス研究センター、国立大学法人九州大学芸術工学部音響設計学科、国立大学法人鹿屋体育大学体育学部

【民間企業・その他】

鹿島建設株式会社技術研究所、日本電信電話株式会社、日本電子株式会社、東レ株式会社地球環境研究所

5. 後援

文部科学省

6. サイエンスキャンプ本部事務局

公益財団法人 日本科学技術振興財団

7. 応募資格

応募締切日時時点で、日本国内の高等学校、中等教育学校後期課程または高等専門学校（1～3学年）等に在籍する生徒。これまでにサイエンスキャンプの参加経験がある人でも応募できます。

8. 応募締切日

2013年1月22日（火） 必着

9. 応募方法

「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、応募締切日必着にて、公益財団法人日本科学技術振興財団サイエンスキャンプ本部事務局宛に郵送でお送りください。

「参加申込書」はサイエンスキャンプ参加者募集ページ (<http://rikai.jst.go.jp/sciencecamp/camp/>)からもダウンロードできます。

※必ず、保護者自署・押印のある原本を郵送してください（FAX不可）。

※応募は1人1通のみです。複数の応募は無効となりますのでご注意ください。

10. 選考方法および決定通知

(1) 「参加申込書」に基づいて各プログラム実施会場が選考を行い、参加者を決定します。

(2) 選考結果は、2月中旬、応募者本人宛に郵送で通知します。また、参加者には、集合場所への経路や持ち物など詳細を説明した「参加のしおり」、その他参加にあたり作成いただく書類も送付されます。

※「参加申込書」に記載された住所に郵送します。

選考結果通知：2013年2月中旬

11. 参加費

参加費：2,000円（支払いは参加決定後です）。

- ・プログラム期間中の宿舎や食事は主催者が用意します。参加費は食事代の一部に充当します。
- ・現地集合・現地解散です（自宅と会場間の往復交通費は自己負担となります）。

12. 参加者サポート

集合から解散までの間、受入実施機関担当者、アドバイザーの先生（高校理科教員）、サイエンスキャンプ事務局、現地会場のスタッフが、プログラムが円滑に実施されるようにサイエンスキャンプの運営を行い、参加者と寝食を共にしながらその学習や生活をサポートします。

13. プログラム一覧 サイエンスキャンプDX

(開催日程順)

プログラムタイトル	会場名	会期	募集人数	プログラム関連分野
生物多様性保全技術 ～生涯現役・里山市民への道～	企業組合 五島列島ファンクラブ	3月25日(月)～ 3月28日(木)	20	環境学、農学(里山学)、コミュニティーデザイン学

サイエンスキャンプ

(開催日程順)

プログラムタイトル	会場名	会期	募集人数	プログラム関連分野
おいしさを科学する～食品科学入門～	東京工科大学 応用生物学部	3月23日(土)～ 3月25日(月)	20	食品科学、分析化学、有機化学
「音」を科学する ～音声の分析と合成を体験してみよう～	九州大学芸術工学部 音響設計学科	3月23日(土)～ 3月25日(月)	12	物理学、情報学、音響学、実験心理学
ナノテクを使ったカラフル太陽電池の製作	大阪工業大学 ナノ材料マイクロデバイス研究センター	3月24日(日)～ 3月26日(火)	12	ナノテクノロジー、材料工学、エネルギー・環境
バーチャルリアリティを活用した3次元可視化のスプリングキャンプ	埼玉工業大学	3月25日(月)～ 3月27日(水)	20	情報学、物理学、生物学
「ナノテク」、「光」、「エネルギー」で未来のコミュニケーションはどうなる？	日本電信電話株式会社 厚木研究開発センタ	3月25日(月)～ 3月27日(水)	10	応用物理学、環境学、情報学
ナノメートルの世界を観る～ようこそ「電子で観るナノメートルの世界」へ～	日本電子株式会社	3月25日(月)～ 3月27日(水)	9	電子顕微鏡、ナノテクノロジー、SEM
「医薬理工農」を融合した最先端バイオ	慶應義塾大学 先端生命科学研究所	3月26日(火)～ 3月28日(木)	16	遺伝子工学、メタボローム解析、システム生物学
くらしを守る。いのちを守る。	鹿島建設株式会社 技術研究所	3月26日(火)～ 3月28日(木)	12	建築学、防災、環境学
脳を見る、知る、調べる	新潟大学 脳研究所	3月26日(火)～ 3月28日(木)	8	神経科学
21世紀の地球環境改善へ ～水処理分離膜の技術～	東レ株式会社 地球環境研究所	3月26日(火)～ 3月28日(木)	8	地球環境、水処理、分離膜
スポーツ科学の最前線 ～From Gene to Gold～	鹿屋体育大学 体育学部	3月26日(火)～ 3月28日(木)	16	運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ医学

14. 応募先・問い合わせ先

サイエンスキャンプ本部事務局:

公益財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

TEL: 03-3212-2454 FAX: 03-3212-0014 E-mail: camp@jsf.or.jp

サイエンスキャンプ参加者募集ページ:<http://rikai.jst.go.jp/sciencecamp/camp/>

スマートフォン専用参加者募集ページ:<http://rikai.jst.go.jp/sciencecamp/camp/sp/>

サイエンスキャンプについて

1. 概要

サイエンスキャンプは、先進的な研究テーマに取り組む大学・公的研究機関・民間企業等を会場に、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校(1~3 学年)等に在籍する生徒を対象とした先進的科学技术体験合宿プログラムです。本格的な研究環境で、第一線で活躍する研究者・技術者から実験・実習・講義等の直接指導を受けることにより、様々な分野の科学技术の先端に触れてもらう機会を提供しています。

2. 経緯

1995年の夏に、科学技术庁(現在の文部科学省)所管の国立研究所(現在の独立行政法人等)9機関を会場としてスタートしました。1997年の第3回サイエンスキャンプからは科学技术庁以外の省庁(現在の環境省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、総務省)の所管する研究所も加わって規模を拡大し、毎年高校生等の夏休みにあわせて実施されてきました。

その後、2003年の春休みからは、民間企業の研究部門や大学の理系学部や大学附属の研究所等が加わり、夏(サマー)・冬(ウインター)・春(スプリング)の年3回の開催になりました。

プログラムの日程は2泊3日が基本ですが、平成23年度より3泊4日以上探究・深化型プログラム「サイエンスキャンプDX(ディー・エックス)」も始まり、さらに充実した内容で開催しています。

3. 実績

サイエンスキャンプは今年度で18年目をむかえ、これまでに10,000名を超える高校生達が参加しました。2012年の冬休みまでの参加者数は約12,000名にのぼります。

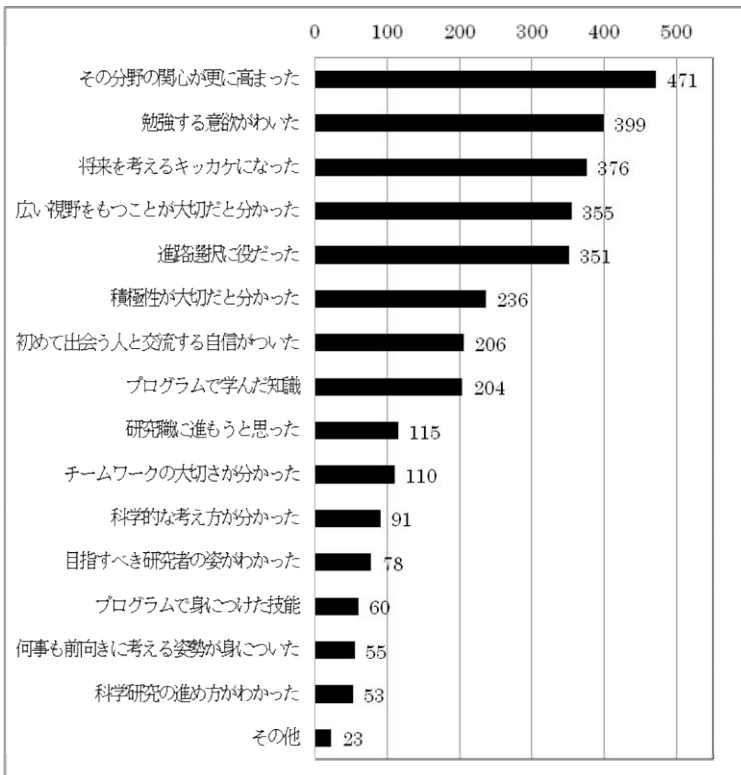
参加者アンケートによると、多くの参加者が、サイエンスキャンプで体験した科学技术分野への関心を更に高め、広い視野や積極性を持つことの大切さに気づいています。また将来を考えるきっかけにもなっています。

サイエンスキャンプへの参加が、科学技术に対する興味関心や進路に少なからず影響を与えていることは、1995年度~2003年度までの参加者に対して行った追跡調査(2004年3月集計)の結果からも読み取れます。

サイエンスキャンプOB、OGには、夢を実現して研究者や技術者となっている人も多く、さらにサイエンスキャンプで高校生の指導にあたる人も現れてきています。

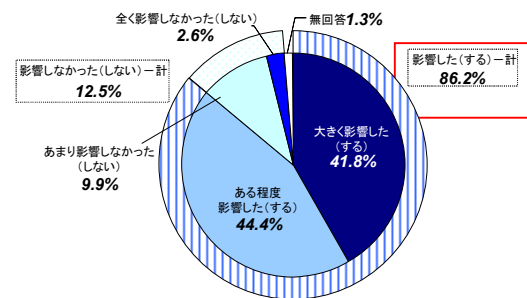
<2011年度サイエンスキャンプ参加者に対するアンケート調査結果より>

今回のサイエンスキャンプを通して、自分自身の役に立ったと思うことはありますか。【複数回答、N=3,183】



<1995~2003年度サイエンスキャンプ参加者に対する追跡調査結果より>

サイエンスキャンプの経験は、あなたが進学先を選択する際にどのくらいプラスの影響を与えた(あるいは与える)と思いますか? 【N=1,373】



サイエンスキャンプに参加した当事を振り返ると、キャンプに参加することで、科学技术に対するあなたの興味・関心はどのように変化しましたか? 【N=1,373】

